



《墮竜の宝玉》

《墮竜の宝玉》

【シナリオスペック】

PC人数：1～5名

脅威ランク：2～5

【選択追加ルール】

スキルルール

書籍版掲載のPC拠所・シナリオ拠所を採用するなら、脅威のランクを1ずつ上昇させて構いません。

シナリオ拠所は**少女**とするとよいでしょう。異音フェイズで初めて会うこととなりますが、初対面の印象でとりましょう。

【ソロ改変】

ソロシナリオに改変する場合は、書籍版掲載のPC人数による行動回数を参照しましょう。

追加ルールは、シナリオ拠所を採用し、シナリオ拠所は**少女**とし、脅威ランクは2となります。

【今回予告】

轟音が響いた。日も落ち、暗闇に染まった山に、赤い、赤い光が。

君たちが何事かと思い、音の出どころへと向かう。

そこには大きなクレーターと……その中央でうずくまる一人の少女がいた。

一体、何があったのか。

気に掛ける暇もなく、竜の咆哮が街を揺るがした。

【ストーリー】

怪獣映画をモチーフにしたシナリオです。異音フェイズで登場する少女の正体は、赤竜の子供です。とある組織に誘拐された我が子を探し、古から生きる竜が暴走。人の街を破壊しにくる、という内容です。脅威は単純に母親の赤竜……ではありません。狂騒フェイズでは暴れる竜の描写をし、適度に拠所などを破壊していくと良いでしょう。しかし、PCたちが立ち向かうべきは、少女を誘拐した組織です。彼らは少女、もしくは暴走した赤竜を仕留め、素材としようたくらんでいます。

もし、PCたちが調査判定を行わなかった場合、組織が暗躍していることがわからないままというケースが想像できます。その場合、決戦は竜を鎮めるために時間を稼ぐ、と表現しても良いでしょう。真相が明らかにならなかったときは、組織の存在などを匂わせなくとも構いません。

決戦が赤竜のままならば、正気を取り戻した母竜がPCに謝罪してエンディングとすると良いでしょう。情報が開示され、組織との対決となった場合も同様です。PLが望むのであれば、陣頭指揮を執っているだろう組織の幹部を始末させてあげるのもすっきりした終わりです。エンディングはセッションの流れにもよりますが、少女は人の街に残っても良いでしょう。母竜とともに人と交わる暮らしを選択する可能性は大いにあり得ます。もちろん、元居た幻想の世界へと戻ってもそれは一つの結末です。

【異音フェイズ】

雷か何かでも落ちたかのような音が、山から響く。

PCは全員何かしらの理由をつけて、山に集合してもらいましょう。

山肌には巨大なクレーターができており、その中心にはあどけない少女の姿が。

PCが近づくと、少女は目を覚ます。それと同時に、海の方から巨大な方向が聞こえます。視覚を強化するような特技があるPCであれば確認できるが、そこには巨大な竜の姿が。少女はその咆哮を聞いたあと、ハッ、と目を見開くと

少女「おかあさん……」

と、意識を失います。

狂騒フェイズの頭で巨大生物が上陸した、とニュースを流すと良いでしょう。

【脅威データ1】ランク2～5

名前：赤竜/赤竜捕縛部隊 出自：人外 性別：女性/なし

特技：《複眼》《心理》《虚偽》《翼》《触手》《牙》

ランク2：『クリーチャー』『狂気(指定特技：複眼)』

ランク3以上で追加：『パターン：クルースニク』

ランク4以上で追加：『※洗練：複眼』

ランク5以上で追加：『※洗練：複眼』

補足：赤竜、もしくはそれを捕獲するための部隊です。赤竜は情報でも明らかになりますが、胸に埋め込まれた《複眼》で暴走状態に陥っています。捕獲部隊もその機能を使って赤竜を操り、PCたちの妨害を払いのける、という演出を行いましょ

う。出自が人外なのは、赤竜自身、またはそれを操っていることの表現です。『和解』を選択するのであれば、赤竜と戦う場合、少女が割って入るとい

う演出をするとよいでしょう。その場合、少女は人の世界に残ることはありません。捕縛部隊の場合でも同様です。少女が身を挺して、捕縛部隊についていく、とすることでPCたちの元から去る、と演出してください。もしそれをPCが良しとしないのなら、闇落ちしてもらいましょう。

また少女とPCはかかわりが薄く、印象が薄くなりがちです。1サイクル目は人間を警戒した状態で、各PCの行動にすべてついてくる、と処理をし、何かするたびに「それで竜を殺すのか」「それで竜をいたぶるのか」と問いかけていくなどすると、関係性を作ることができます。



【情報】 ランク 2

項目 1 : 竜の素性 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

赤竜は山にいた少女の母親である。

我が子を人間に浚われた怒りで暴走しており、もはや言葉など聞けぬ状態である。

赤竜は鋭い牙のほか、意志を持っているかのように這い回る炎を吐く。

翼に攻撃的な用途は無いらしいが、牙は戦闘でかなり強力な武器となるだろう。

だが、特徴的なのは胸にある赤い瞳。

赤竜は子供をさらった組織により、この装置を打ち込まれ、正気を失っている。

項目 2 : 少女の気持ち 指定特技 : 心理

公開タイミング : 3 サイクル目(直前に少女が君達に何か言いたげにしている、と演出すること)

少女は自分に優しくしてくれたキミのことを慕っている。

『人間はことごとく信用できない』と教育されてきたが、君たちだけは例外だと考えている。

【情報】 ランク 3

項目 1 : 少女の素性 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

少女は実は人間ではなく、竜である。

人の身に化けているが、街に迫りくる赤竜と同じ種族だとわかる。

項目 2 : 竜の素性 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

赤竜は山にいた少女の母親である。

我が子を人間に浚われた怒りで暴走しており、もはや言葉など聞けぬ状態である。

赤竜は鋭い牙のほか、意志を持っているかのように這い回る炎を吐く。

翼に攻撃的な用途は無いらしいが、牙は戦闘でかなり強力な武器となるだろう。

だが、特徴的なのは胸にある赤い瞳。

赤竜は子供をさらった組織により、この装置を打ち込まれ、正気を失っている。

項目 3 : 少女の気持ち 指定特技 : 心理

公開タイミング : 3 サイクル目(直前に少女が君達に何か言いたげにしている、と演出すること)

少女は自分に優しくしてくれた PC 達のことを慕っている。

『人間はことごとく信用できない』と教育されてきたが、君たちだけは例外だと考えている。

【情報】 ランク 4

項目 1 : 少女の素性 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

少女は実は人間ではなく、竜である。

人の身に化けているが、街に迫りくる赤竜と同じ種族だとわかる。

項目 4 : 少女の気持ちを調査できるようになる。

項目 2 : 竜の素性 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

赤竜は山にいた少女の母親である。

我が子を人間に浚われた怒りで暴走しており、もはや言葉など聞けぬ状態である。

項目 3 : 竜の装備 指定特技 : 複眼

公開タイミング : 項目 2 開示後

赤竜は鋭い牙のほか、意志を持っているかのように這い回る炎を吐く。

翼に攻撃的な用途は無いらしいが、牙は戦闘でかなり強力な武器となるだろう。

だが、特徴的なのは胸にある赤い瞳。

赤竜は子供をさらった組織により、この装置を打ち込まれ、正気を失っている。

項目 4 : 少女の気持ち 指定特技 : 心理

公開タイミング : 3 サイクル目(直前に少女が君達に何か言いたげにしている、と演出すること)

少女は自分に優しくしてくれた PC 達のことを慕っている。

『人間はことごとく信用できない』と教育されてきたが、君たちだけは例外だと考えている。

【情報】 ランク 5

項目 1 : 少女の素性 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

少女は実は人間ではなく、竜である。

人の身に化けているが、街に迫りくる赤竜と同じ種族だとわかる。

項目 4 : 少女の気持ちを調査できるようになる。

項目 2 : 竜の素性 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

赤竜は山にいた少女の母親である。

我が子を人間に浚われた怒りで暴走しており、もはや言葉など聞けぬ状態である。

項目 3 : 竜の装備 指定特技 : 複眼

公開タイミング : 項目 2 開示後

赤竜は鋭い牙のほか、意志を持っているかのように這い回る炎を吐く。

翼に攻撃的な用途は無いらしいが、牙は戦闘でかなり強力な武器となるだろう。

だが、特徴的なのは胸にある赤い瞳。

赤竜は子供をさらった組織により、この装置を打ち込まれ、正気を失っている。

項目 4 : 少女の気持ち 指定特技 : 心理

公開タイミング : 3 サイクル目(直前に少女が君達に何か言いたげにしている、と演出すること)

少女は自分に優しくしてくれた PC 達のことを慕っている。

『人間はことごとく信用できない』と教育されてきたが、君たちだけは例外だと考えている。

項目 5 : 組織の思惑 指定特技 : 虚偽

公開タイミング : 項目 3 開示後

組織は子供を浚うことで親竜を暴走させ、仕留めるつもりでいる。

赤い瞳は万一にでも冷静ならぬよう、保険として使用し、あわよくば他の協力を得て合法的に竜を屠ろうと考えている。

画像はジュエルセイバーFREEからお借りしています。

URL : <http://www.jewel-s.jp/>